

2016 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [七尾市立小丸山小学校] 担当教諭名 [山口 友莉] (3年2組 27名)

相手国・地域 [ジャマイカ]

海外学校名 [Fruitful Vale Primary School] 担当教諭名 [Alesia Smith Reid / 佐藤 鉄平(JICA)]

■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
	総合的な学習の時間	アートマイルプロジェクト	25

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	大切にしたいわたしたちの文化
メッセージ (相手と一緒に 絵に込めた想い)	日本には日本、ジャマイカにはジャマイカの文化がある。それぞれ、当たり前のように身近にあるけれど、その一つ一つを大切にしていきたい。そして、互いの文化のよさを認めることで、他国の人もつながっていききたい。
	

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
今回の取り組みを通し、子どもたちの海外に関する興味は高まり、「英語を学習したい」などの今後につながる意欲を高めることができた。また、絵を描く活動では友達同士で協力したり自分から進んで活動に取り組んだりしている姿が見られた。さらに、活動では相手国の小学生を意識した発言も多く見られ、自分から関わろうとしている様子が伺われた。	絵を通してメッセージを伝えるという点や、そのためにもどのような絵を描くかという点に関しては、話し合っただけでは難しい部分も多く、教師主導になってしまった。小学校中学年ということもあり、完全に児童主体は難しいかもしれないが、子どもたちが自分たちでやっているという感覚をもてるようにしたい。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
相手国についての調べ学習をするなかで相手国への興味を高めることができた。さらに、アートマイル以外の総合での授業でも海外の国についての話を絡めることで、世界の国々についての興味も少しずつ高まった様子が見られた。2学期に入り100人村のワークショップをすることで世界について多くの新たなことを知り、「もっと知りたい」「英語を勉強して海外の人としゃべれるようになりたい」「早くジャマイカの人と絵を描きたい」との声を引き出すことができた。	相手国に対して、聞いたことはあるという認識程度でしかなかったが、事前に調べたり、子どもたちと国についての話をしたりするなかで、相手国への理解を深めることができた。また、100人村の活動では、世界の貧困の差や教育の差による弊害等、改めて見直すことができた。また、私自身も始めて知るような世界の様子に触れることができた。子どもと活動するなかで、言葉だけでなく絵や写真でも海外の人との交流を楽しむことができたことに気がついた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	6月 7月 9月	<ul style="list-style-type: none"> ・アートマイルについて知る ・学習の計画を立てる ・ジャマイカについての調べ学習 <ul style="list-style-type: none"> ・100人村のワークショップ <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・当初ジャマイカという国について全く知らなかったため、調べ学習をするなかで様々な情報を手に入れ、楽しみながらジャマイカへの関心を高めることができた。 ・全く知らなかった世界の実情について知り、世界の国々への興味関心を高まるとともに、世界の人とも交流したいという意欲を持たれた。 ・ローマ字で名前を書いたカードに自分を表現するために好きなものの絵を描くとともに、ジャマイカの国旗を描くなど相手を意識した自己紹介カードを作成できた。 	総合
共有 テーマ学習	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の文化を伝えるために絵を描く 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで日本の文化のうち何をジャマイカに伝えたいか考え、それを伝えるために画用紙に絵を描いた。ジャマイカの相手を意識しながら絵を描けた。 	総合
融合 メッセージ 壁画デザイン	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・構図を決める 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手国と相談しつつ、文化を大切にしようというテーマを決定した。その後、大まかな構図を決め、それをもとにそれぞれの場所の担当を決め、何を描くかグループで相談する。全員が協力しながら積極的に取り組んだ。 	総合
創造 壁画制作	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・下書きをする ・彩色して完成させる ・贈り物といっしょに送る 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵を完成させるために協力して、一人ひとりが積極的に色を塗った。 ・ジャマイカの人へ渡すメッセージカードや折り紙を作った。ジャマイカに届くことを想像しながら楽しんでつくることができた。 	総合
評価 振り返り 自己評価	1月 3月	<ul style="list-style-type: none"> ・仕上がる絵を予想する ・返ってきた絵の鑑賞 	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャマイカの季節らしさとはどんなものがあるのだろうと、ジャマイカへの思いを持ちながら絵の予想をした。 ・絵の鑑賞の時間では、自分たちが描いた絵とジャマイカからの絵が繋がった喜びを感じることができた。 	総合

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	B	4	「共有」の段階で、ジャマイカの学校に自文化を伝えるために、自文化について改めて見直すことができていた。また、「融合」でも、四季は日本特有のものだと気がつき、四季のある良さに気がついた。
異文化の理解	A	5	「出会い」の段階で異文化について触れることができた。ジャマイカについての調べ学習ではジャマイカの国旗や文化を知り、興味を高めることができた。100人村でのワークショップでは世界の人口や貧富の差などに気がつき、他国の人ともうまく暮らして生きたいという思いをもてた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	4	「出会い」の100人村で世界への興味を高めることができ、それが自分も英語を話せるようになって世界各国の人と話せるようになりたいという思いを持つことへつながった。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	4	「出会い」のジャマイカの調べ学習では、本やインターネットから自分が知りたい情報を探したり、選んだりすることができた。3年生になってからは初めての調べ活動でもあり、進んで情報を集めようとしていた。 「共有」の日本文化を伝えるための絵を描く場では、言葉が通じない相手にどのように伝えるかと試行錯誤した。
人間関係をつくる (学級内・海外の相手)	A	3	「出会い」での自己紹介では、自分が伝えたいことを伝えるだけでなく、相手に喜んでもらえるための絵を描くなど、相手との人間関係作りを意識した活動ができた。
協働する力 (役割分担・協力)	A	5	「創造」での壁画制作活動などを通し、友だちと会話を重ねながら、役割を決めたり、その枠を超えて手伝ったりしながら協力して活動することができていた。
学習を追究する意欲	C	3	「創造」での壁画制作活動では、自分から友だちに声をかけて活動を進めたり、自分から放課後や休み時間での製作に取り組んだりなど、積極的に取り組むことができた児童がいた。一方で、絵の制作では全員で絵を描くには狭いということもあり、積極的に取り組める児童と、なかなかできない児童に差が見られた。
表現力 (伝えたいことを言葉・絵で表す)	B	4	「共有」で日本文化を伝えるための絵を描く活動で、どうしたらジャマイカの子にうまく伝えることができるか考え、工夫して絵を描くことができていた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	C	4	作品の鑑賞では、海外の人とも一緒に1つのものをやり遂げられる喜びを感じていた。学習の振り返りでは、この経験を通し自分ががんばったことや、これからどうつなげたいか考えることができた。